

経営比較分析表（令和4年度決算）

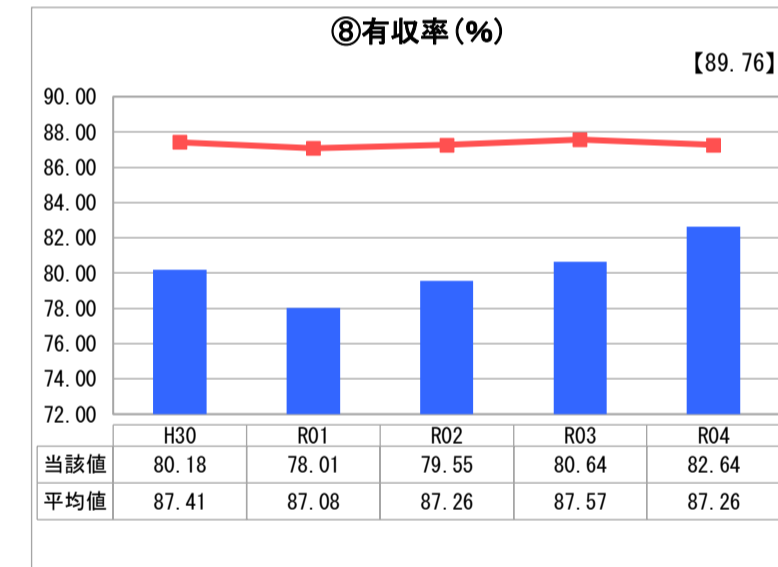
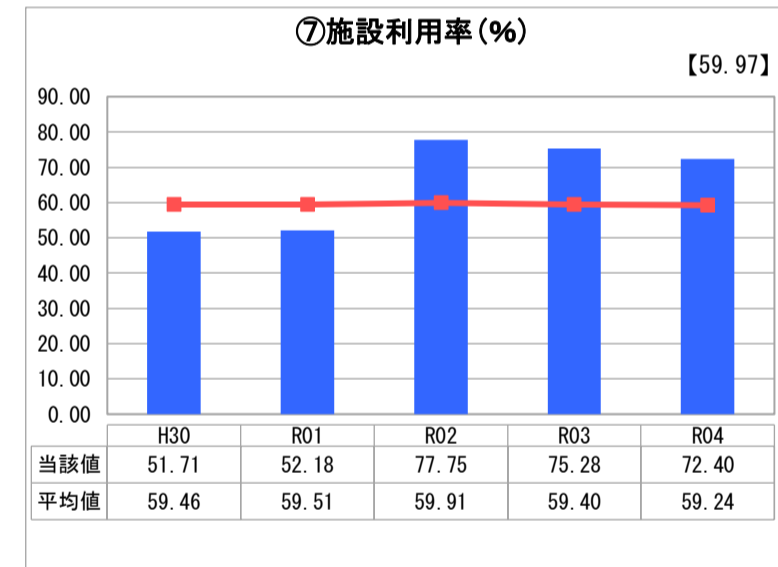
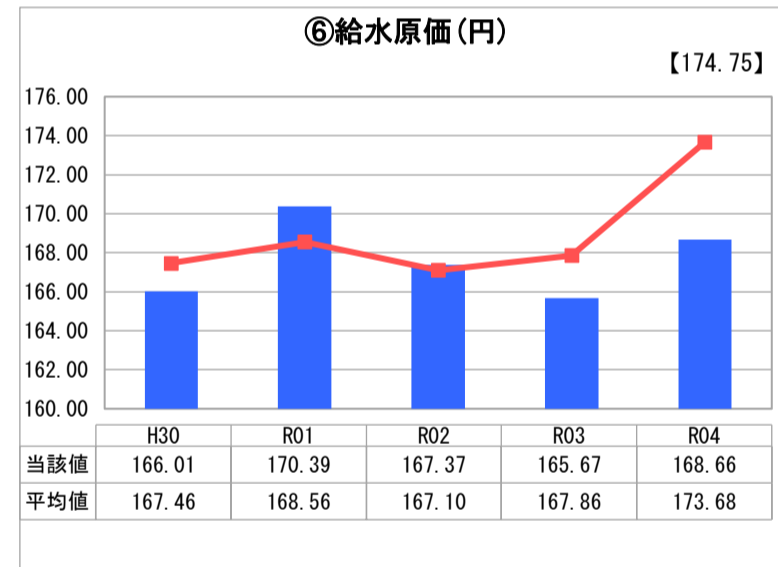
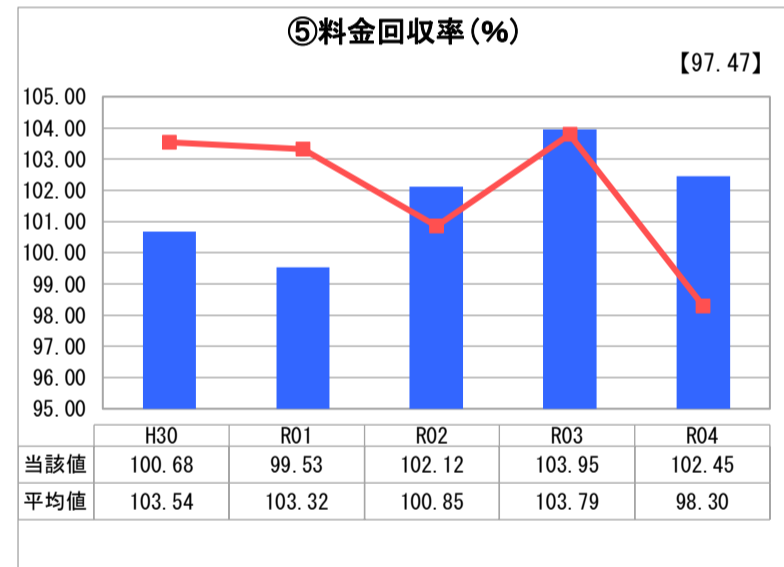
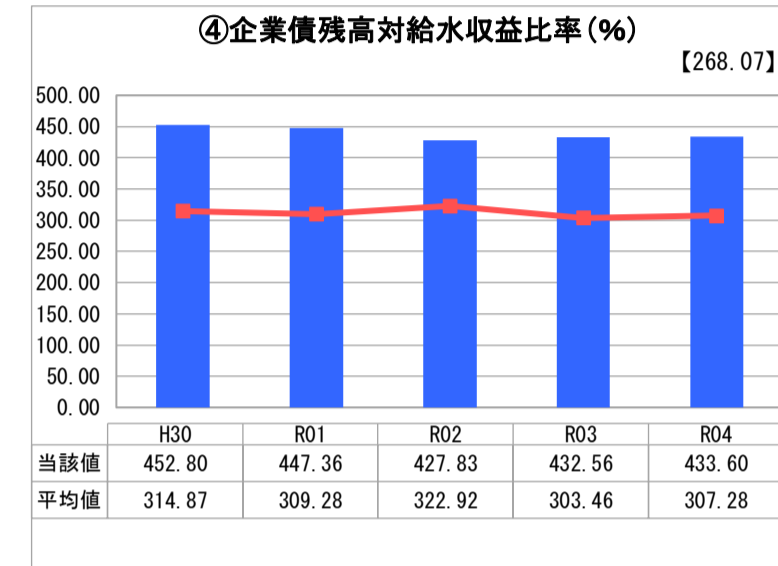
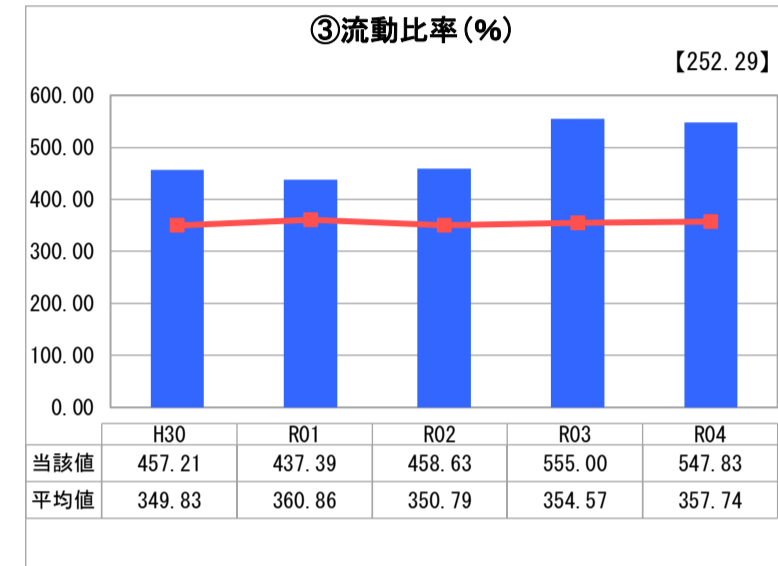
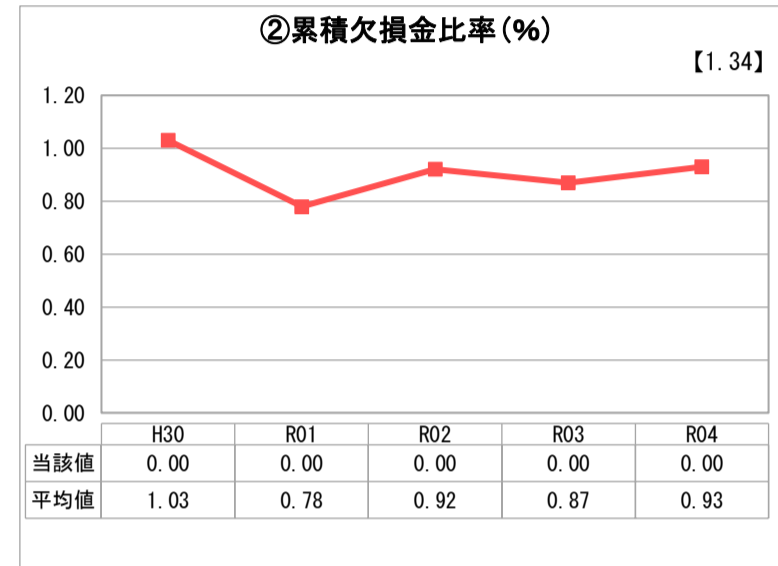
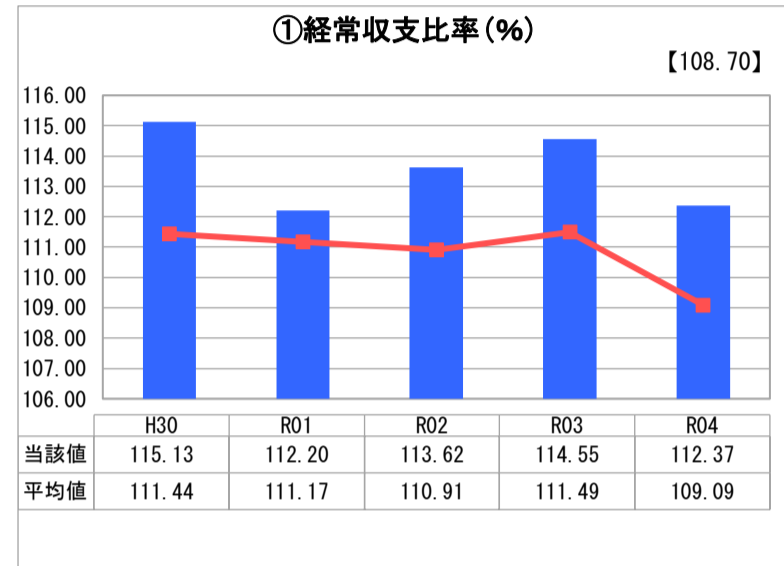
福島県 白河市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	66.72	96.38	2,343	

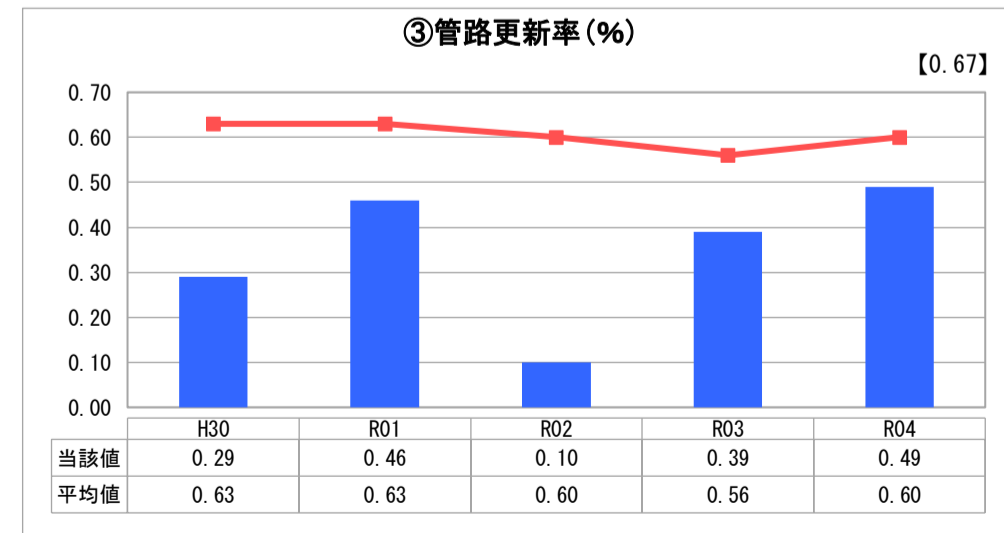
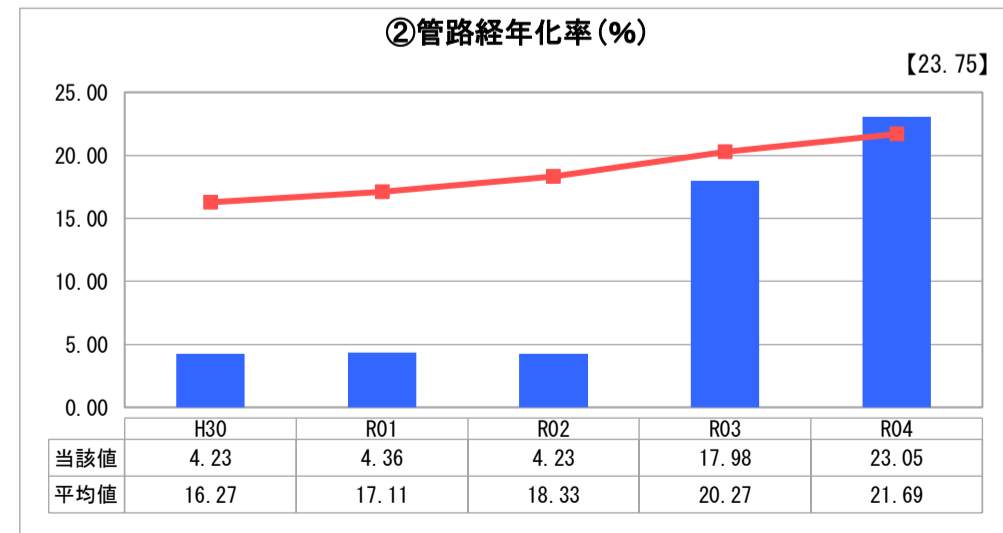
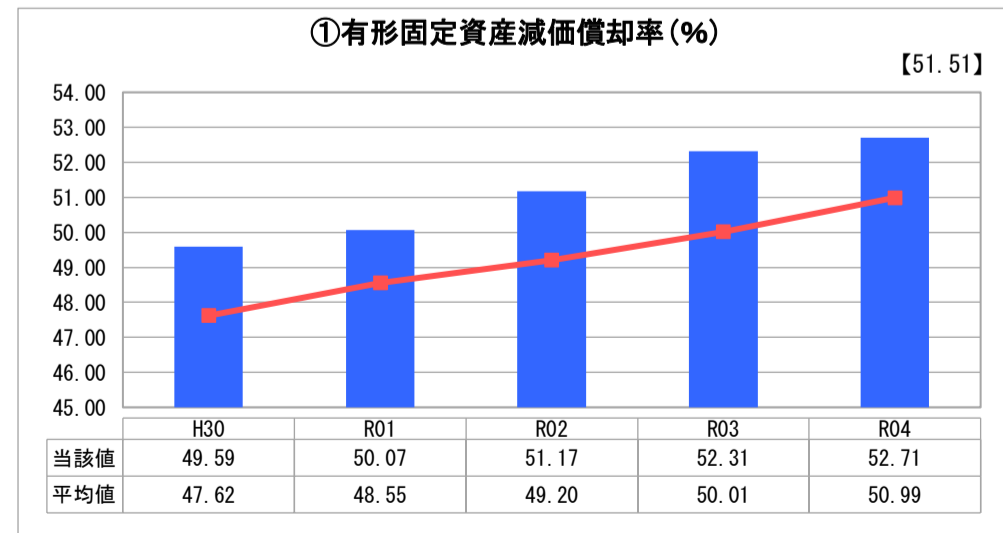
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
58,743	305.32	192.40
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
56,233	155.90	360.70

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、③ 流動比率の各指標が類似団体平均値を上回り、財務の健全性や支払能力に問題はない。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、給水収益の減少により、前年度よりやや増加した。
 ⑤ 料金回収率は給水原価額の上昇により、前年度より回収率が低くなったが、100%を上回っている。
 ⑥ 給水原価は費用の増加により、前年度より原価額が上昇したものの、類似団体平均値を下回った。主な増加要因としては、動力費の増加が挙げられる。
 ⑦ 施設利用率については、類似団体平均を上回ったものの、年間配水量が減少したことにより数値が減少した。
 ⑧ 有収率は前年度より上昇し数値の改善が見られたが、類似団体平均値と比べ低い。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率、② 管路経年化率は増加傾向にあり、施設の老朽化が進んでいる。
 ③ 管路更新率は前年度より上回ったものの、経年化率の上昇からも引き続き計画的な施設更新を行う。

全体総括

経営の健全性・効率性の指標については、給水収益の減少が見込まれる中で経常費用の削減に努めたものの、電気料金高騰により動力費の支出増額が影響し、前年度より数値が悪化した。
 類似団体平均値の比較においては、本市の数値は良好であるが、今後更なる人口減少により、厳しい経営環境が予想される。
 老朽化の状況も、前年度より数値が悪化し、類似団体平均値と比較しても数値が低く、今後施設の維持管理費及び管路更新の計画的実施による建設改良費の増加が見込まれる。
 今後、施設の統廃合など効率的な運営を行うと共に、官民連携・広域化を検討し、経費の削減に努めることで、経営基盤の強化とサービス向上を目指していく。